

活用事例

金融サービスソフトウェアのリーダー、MYOBがInfoblox DDIを用いてクラウドでのネットワーク管理を自動化



概要

オーストラリアのテクノロジー業界に深く根を下ろしたMYOBは、最先端の税務、会計、ビジネスサービス用ソフトウェアを中小企業およびエンタープライズ市場に提供しています。

MYOBの始まりは1980年代初頭にさかのぼり、SAPやOracleなどの大手の国際的ソフトウェア企業に匹敵する革新的な会計およびビジネス管理アプリケーションを開発および提供することで評判を築いてきました。同社は、「私たちは成功がどうあるべきかをお客様に伝えるためにここにいるのではありません。お客様がビジネスに望むものは何であれ、お客様が望むものを達成するのをお手伝いできます。」という精神に基づき、MYOBはオーストラリアとニュージーランドに拠点を置く組織に、会計、給与計算、支払い、小売POS、CRM、専門的な税務ソリューションなど、30以上の異なるビジネス管理ソリューションを提供しています。

状況

クラウドファーストアプローチへのコミットメントと拡張

MYOBは長年にわたりクラウドファーストのアプローチを採用し、ビジネスアプリケーションのカatalogのほとんどがSaaS (Software-as-a-Service) モデルを通じて利用可能でした。しかし、クラウドファーストの精神を早期に導入した企業であるにもかかわらず、同社のネットワークインフラストラクチャの多くは依然として物理的なデータセンターを通じて管理されていました。MYOBの意思決定者は、競争力を維持するために、DNSインフラストラクチャと関連するネットワーク管理システムをクラウドに移行することが論理的かつ必要な次のステップであると認識しました。

「完全なSaaS/クラウドビジネスになるための取り組みの大部分は、データセンターの管理から離れるということが占めていました」と、メルボルンに拠点を置くMYOBのネットワークエンジニアリングチームの責任者であるGlenn Kerr氏は説明しました。

「主要な製品開発プロセスをクラウドに移行するだけで、5か所のデータセンターにある約1,100台のサーバーを300台、あるいはそれ以下にまで削減できました。しかし、

Infoblox DDI以前は、IPAMプロセスでネットワークチームに連絡を取り、対応してもらう必要がありました。しかし、すぐに対応してもらえるとは限りませんでした。今では、自分で数分でセットアップでき、手間なく管理できるようになりました。「シンプルに動作します。自分のアカウントに新しいIPブロックが割り当てられ、すぐに稼働を開始できます。」

Joe Devereux氏
シニアシステムエンジニア
MYOB

私たちは業務をクラウドに移行する際に、コアネットワーク運用の管理方法を考え直す必要があることに気がしました。手動のネットワーク管理プロセス、たとえばIPアドレスの割り当てを、自動化されたクラウドプロセスに移行する必要があることが明らかになりました。それが私たちがInfobloxに出会った経緯です。」

課題

手動ネットワークタスクに自動化を導入

オーガニックに成長する多くの企業と同じように、MYOBは、オーストラリアとニュージーランドの主要都市にある11か所のオフィスに従業員が分散する中規模組織に成長するにつれて、手作業や専門的でない特化製品でそれまでは管理可能だった基本的なネットワークタスクがますます困難になっていることに気がしました。もう一つの問題：この成長とデジタル化の進展に伴い、組織内の従業員と部門、特にDevOpsとシステムエンジニアリンググループの数が増加し、それらの部門は自分たちの仕事をサポートするためにネットワークチームに依存するようになりました。

たとえば、DevOpsは、新しいクラウド環境を有効にするために作業する際、新しい製品や機能をテストするために一意のIPアドレス範囲を割り当て作業をネットワークチームに依存していました。開発エンジニアがレガシーツールを使用してAmazon Web Services (AWS) 内に環境を構築する際、中央管理のスプレッドシートからIPアドレス範囲を手動で割り当てることでコンフリクトを回避していました。これは遅く、エラーを起こしやすいプロセスでした。Kerr氏と他のIT関係部門の責任者にとっての重要な優先事項は、インフラストラクチャをコードとして使用してIPAMを自動化するだけでなく、ネットワークチームをこれらのプロセスから完全に切り離す方法を見つけることでした。MYOBチームは、AWS環境におけるデータセンターの近代化の取り組みの大部分を中心に置いていました。現在、MYOBは大規模なAzure製品の実装面積も維持していますが、組織のエンジニアリング作業および開発作業のほとんどはAWSで行われています。

解決策

クラウドファーストのInfoblox DDIが、MYOBのAWS環境においてセルフサービスIPAMを推進しています。

MYOBは、長年にわたりDNSおよびDHCPの管理に使用してきたMicrosoft Windowsサーバーを補強するために、クラウドネイティブのInfoblox DDIソリューションを採用しました。業界初のクラウド管理ソリューションであるInfoblox DDIは、DNS、DHCP、IPAMの管理を可能にし、従来のDDI実装における複雑さ、ボトルネック、スケーラビリティの制限を排除します。さらに、Infoblox DDIがIPアドレス管理を完全に自動化したことで、Kerr氏とネットワークチームは、スプレッドシートを使ってIPアドレスを保存、追跡、割り当てするという時代遅れで非常に手作業の多いプロセスを排除し、ネットワークチームの関与をなくすことができました。これらのステップを自動化することで、DevOpsチームは自分たちのペースで作業し、ネットワークチームとやり取りすることなく、コードによってIPアドレスの割り当て作業を取り込めるようになりました。

「旧システムでは、誰かがIPアドレスを割り当てたい場合、Excelのスプレッドシートを探し出す必要があり、完全に手動プロセスでした」とKerr氏は述べています。「ネットワークチームがIPAMのためにDevOpsチームと関与する必要がある場合、ネットワークチームの優先事項に合わせて作業することで、数時間、場合によっては数日間の遅延が生じることがありました。Infoblox DDIの導入で、ネットワークチームはもうIP割り当ての管理者である必要がなくなりました。私たちは、Infoblox DDIにAPI呼び出しを行い、次に利用可能なアドレス範囲でインフラストラクチャをコードテンプレートに反映するプロセスを作成しました。Infoblox DDIで利用できる豊富なAPIライブラリにより、まさにそれを実現することができました。」これらのIPアドレス管理プロセスを自動化することで、チームはInfoblox DDI SaaSポータル内だけでクラウド割り当て専用の巨大なIPプールを作成できました。それ以降、エンジニアがクラウド環境のIPアドレス範囲を割り当てる必要がある場合、インフラストラクチャのブートストラップコードが

お客様： MYOB
業種： 情報技術および関連
コンサルティング
場所： クレモーン、オーストラリア

目的：

- DDIの操作を自動化し、クラウドに移行することで、データセンター内の物理サーバーのフットプリントをさらに削減
- Infoblox DDIインフラストラクチャのコード機能を活用し、DNS、DHCP、IPAMの手動プロセスを軽減
- AWSおよびAzureを含む主要なプラットフォームでマルチクラウドベースで処理できるクラウドベースのDDI機能を実装

結果：

- Infoblox DDIを使用することで、MYOBチームは手動タスクを自動化し、優れたネットワークパフォーマンスを維持し、クラウドファーストの組織になるという会社の目標を達成
- Infoblox DDIにAPI呼び出しを行い、IPアドレス範囲をIaCテンプレートに入力するプロセスを作成。これにより、DevOpsチームはネットワークチームの関与なしにIPアドレスを作成・管理
- DDI管理の完全な自動化と、高度なセキュリティ監査の組み込みを達成

製品：

- Infoblox DDI

Infoblox DDI APIを使用して、Infoblox DDIからAWS VPCのCIDRブロックへのIPアドレスブロックの割り当てを予約、割り当て、監査しています。

Kerr氏によると、「これは完全に自動化されていて、DevOpsチームにとっては完全にセルフサービスで、ネットワークチームが関与する必要は全くありません。また、従来は大規模なインフラのブートストラップテンプレートに含まれていたコードを分離し、必要なコードのみをAWSサービスカタログからダウンロードできるようにしました。これは、エンジニアが自分のコード内でIPアドレス範囲の割り当てを自動化したい場合に適しているソリューションです。」

結果

イノベーションの促進、ビジネスの優先事項の加速化のための柔軟性が向上

Kerr氏とネットワークチームの視点から見ると、Infoblox DDIは、手動タスクの自動化、優れたネットワークパフォーマンスの維持、クラウドファーストの組織になるという会社の目標を達成する上で、非常に成功しています。「Infoblox DDIにより、私たちはクラウドリソースの導入と管理に使用するAWSコードベースに自動IPアドレス管理を提供できるようになり、独自のIPアドレス指定も解決できるようになりました」とKerr氏は述べています。「これは完全に自動化されていて、監査機能が組み込まれている上に、非常に安全です。起動すると、コードはアカウント番号とVPC名を Infoblox DDI に自動的に送信し、それが Infoblox DDI によって割り当てられたプレフィックスに記録されます。これらはすべて Infoblox が提供するAPIキーとセキュリティを使用して行われます。」

Kerr氏は続けて次のように述べています：「AWSで作業しているDevOpsユーザーは、コードを使用して『これが私のAWSの詳細で、これが私が希望するIP割り当てのサイズです』とコールを送信できます。次に、Infoblox DDI APIが呼び出しを受信し、新しい割り当てに対してAWSの詳細を記録し、AWS VPCが取り込むためのIPアドレスブロックを返します。当初はすべてAWSで構築しましたが、Azureで作業しているエンジニアもあり、Azureでも同じ機能を作成したいと考えています。将来的にユースケースが発生した場合、他のクラウドプラットフォームでも Infoblox DDIを使用することになりそうです。」

同社のシステムエンジニアリングチーム、すなわち実際にIPの割り当てとサーバーの展開を行う担当者にとって、Infoblox DDIを通じたクラウドベースの自動化の利点は画期的なものでした。「私はこのプロジェクトではどちらかというと消費者側に位置していますが、私の観点からすると、これは一種の『目に見えないもの』であり、それは良いことなのです」と、MYOBのメルボルン本社のシニアシステムエンジニアであるJoe Devereux氏は説明しました。「Infoblox DDIを導入する前は、IPAMプロセスではネットワークチームに連絡を取り、コミュニケーションを図る必要がありましたが、すぐに対応してもらえるかどうかはわかりませんでした。今では、自分で数分でセットアップでき、手間なく管理できるようになりました。シンプルに動作します。私のアカウントに新しいIPブロックが割り当てられ、すぐに稼働を開始できます。自動化して機能させることができるものが増えるほど、私の仕事は楽になります。そして、それが Infoblox DDIで得られた結果です。」

Kerr氏は、Infobloxを使用してクラウドファーストモデルに移行することで、組織内の複数のステークホルダーがイノベーションを推進し、ビジネスの優先事項を加速するための柔軟性が向上すると付け加えました。「昔は、中央データセンター内のサーバーインフラ、パッチ適用、セキュリティなどのすべてのタスクを担当するIT部門が存在していました。その後、アプリケーションがその上に追加されました。現在のモデルは、これらすべての機能のためのインフラストラクチャをコードとして実際に構築しています。私たちがキーを渡すと、すべてがコードとして定義されます。当社のDevOpsチームは、同じネットワーク機能をすべて利用でき、IPアドレスのプロビジョニングやサーバー管理の専門家である必要はありません。チームは素晴らしい製品作りに専念できます。」

IP割り当ての自動化がInfoblox DDIを導入する最初の動機でしたが、最終的にKerr氏とそのチームは、データセンターのWindowsサーバーからクラウド上のInfoblox DDIにDHCPとDNSの両方の運用を移行することができました。「Infobloxは、SaaSモデルで分散型の、軽量で、冗長性のあるアーキテクチャを使用してネットワーク管理のための単一のポータルを提供してくれます」とKerr氏は最後に付け加えています。「Infoblox DDIから得られる大きな価値は、エンジニアがアップグレードに何時間も費やすのではなく、機能スタックに集中できることです。」



Infobloxはネットワークとセキュリティを統合して、これまでにないパフォーマンスと保護を提供します。Fortune 100企業や新興企業から高く信頼され、ネットワークが誰に、そして何に接続されているのかをリアルタイムで可視化し制御することで、組織は迅速に稼働でき、脅威を早期に検知・対処できます。

Infoblox株式会社
〒107-0062 東京都港区南青山2-26-37
VORT外苑前13F

03-5772-7211
www.infoblox.com